

海外・帰国 あれこれコーナー

このコーナーでは、いろいろな立場の人たちの声を聞きながら、特に海外に住んでいる保護者の方々に役立てていただける情報や、参考になる考え方などを提供していきます。

取り上げてほしいテーマ、ご意見、ご感想などをお知らせください。皆様の声を聞きながら、このコーナーをできるだけ実際に役に立つものにしていきたいと思っています。連絡は、Eメールで、sasa@keimei.ac.jp までお願いいたします。



佐々 信行
ささ のぶゆき

啓明学園初等学校 校長

ハンプルク補習校、帰国子女受け入れ担当（横浜市）、日本語イマージョン・プログラム教諭（バージニア州）、ワシントン補習授業校を経て、現職。

啓明学園 初等学校・中学校・高等学校
東京都昭島市拜島町 5-11-15
代表： 042-541-1003
www.keimei.ac.jp



さすまた

「さすまた」と「年賀状」

◆ 学校の安全

先日、私の学校で「さすまた」というものを購入しました。時代劇の捕り物のシーンなどに登場する、先が二つに分かれた棒で、相手を取り押さえるために使います。学校に不審者が侵入した時に備えるためです。今まで、知る人もあまり多くなかった道具ですが、このところ学校を中心に注文が殺到し、作るのが追いつかないくらいだそうです。

学校や通学路で不審者が子どもに危害を加える事件が何件か起こったため、日本全国の学校では、警戒がとて厳しくなっています。数年前まではとてもおおらかだった私の学校でも、職員は必ず職員証を着用する、出入り口の門は可能な限り施錠する。警察に協力してもらって「さすまた」を使う訓練をする、などという対策が講じられました。

新しい技術を利用した安全のための機器やサービスが、つぎつぎに登場し、毎日のように学校あてにダイレクトメールが届きます。学校ぐるみで、大がかりなシステムを採用するところもあります。

ある私立小学校では、全校の児童が、特殊なタグをランドセルにつけています。子どもが、校門を通過するたびに、保護者にEメールでそのことが知らされます。保護者は、子どもがいつ学校に着いたか、いつ学校を出たかが分かります。

関西の鉄道会社は、子どもが定期券を使って学校の近くの駅で乗降したときに保護者に連絡が行くというシステムを開発しました。

衛星を利用してタグの位置を保護者のコンピューターまたは携帯電話の地図上に表示するサービスもあります。子どもがいまどこにいるか、このシステムで調べれば、いつでも分かります。

非常ベルと携帯電話を結びつけたサービスでは、子どもが携帯電話についた非常ベルを鳴らすと、自動的に保護者に電話がかかり、非常事態が起きていることを知らせます。あらかじめ契約しておけば、ガードマンがそこに駆けつけてくれるようにすることもできます。

それでは、これらの最新機器を使うことで子どもがどれだけ安全になるかという点、実はよく分かりません。子どもがいつ学校を出たかを知ったとしても、不測の事態が起こる確率が減るわけではありません。地図上に表示がなくても、安全の証拠にはなりません。第一、位置が示されるのはタグの位置であって、子どもの位置ではありません。計画的な誘拐犯なら、そのタグをつけたまま子どもを連